

第39回岐阜公園菊人形・菊花展情報 第2号

今回で39回目を迎える岐阜公園菊人形・菊花展。期間中、会場となる岐阜公園は園内が菊で埋め尽くされ、美しく彩られます。7部門約3,000鉢の菊を展示しており、特に、山菊総合花壇の出展数については全国一を誇ります。

また、庭園内では、「若き日の信長 まむしの道三を呑む」をテーマに菊人形の展示も行っています。

皆様のお越しをお待ちしております。

開催期間：平成22年10月23日（土）～平成20年11月23日（火・祝）

AM9：00～PM5：00（※ 会期中無休、無料）

開催場所：岐阜公園（岐阜市大宮町1丁目）

駐車場：普通車 195台（一回300円）

バス 9台（一回1,000円）

アクセス：JR岐阜駅または名鉄岐阜駅からバス15分

「岐阜公園歴史博物館前」下車 徒歩2分

□ 最新情報

1. 菊人形・菊庭園

平成22年度菊人形テーマ

『若き日の信長 まむしの道三を呑む』

菊人形は、右から佐脇良之、織田信長、堀田道空、斉藤道三で、一体当たり約70株の菊を使用しています。



平成22年11月2日撮影



平成22年11月2日撮影

左図は金華山をイメージしていますが、この庭園には、約20種450鉢の小菊を使用しています。

なお、見頃は11月初旬です。

2. 山菊総合花壇

木付け、石付け及び文人等、5鉢以上の作品を組み合わせ、一つの花壇として構成したものです。これは、この地方特有の作風で、他ではほとんど見られず本菊花展の特色を表すものです。

(例年の見頃は11月中旬)



平成22年11月2日撮影



平成22年10月25日撮影

3. 大菊花壇

大輪菊の3本立ち12鉢もしくは、一本立ち20鉢をもって一つの花壇を構成したものです。

(例年の見頃は11月初旬から中旬)

4. 美濃菊花壇

皇室の紋章の図案といわれる一文字菊を祖先に持つこの菊は、名前から推察されたとおり岐阜が発祥の地です。

この花の特徴は花卉の表裏の色が異なるものがあり一種のそう重味と艶やかさを持っています。

(見頃は11月初旬から中旬)



平成22年10月25日撮影



平成22年11月2日撮影

5. 大菊小作り

7月頃に菊の芽差しを行い、比較的短期間に育成し花を楽しむもので、一鉢一本立てとして10鉢をもって一花壇を構成します。

(見頃は11月初旬から中旬)

6. 小菊盆栽

この部門は、小菊自体の特性を生かし、作品の中に幹や根を強調し、盆栽風に仕立てられたもので、数年栽培されている古木も含まれます。

(見頃は11月中旬)



平成22年11月2日撮影



平成22年11月2日撮影

7. 小菊盆養

この部門は、全国的にも珍しいこの地方特有の作風で、古木を主体にして小菊を育成したもので、あたかも樹齢数十年を経て現在に咲き誇っている感をかもし出しています。

(見頃は11月中旬)



平成22年10月25日撮影

8. 自由花

この部門は、作者が自由な発想に基づいて育成した菊花作品を展示したもので、出展にあたっては大菊、新花、古花等、規定はありません。

(見頃は11月中旬)

9. その他

菊人形 (造花)



平成22年10月25日撮影

千輪仕立て



平成22年10月25日撮影